



# 地区報 あすなろ

Vol.47 Oct.2024

Asunaro District,  
Tokyo Scout Council,  
Scout Association of Japan.



## ハイク200伝達・富士章記念品授与

9月16日 富士スカウト章記念品が 出原 ももさん（杉並11団）に授与され  
プラチナアワード ハイク200が 新藤 美桜 さん（中野8団）  
高木 航太郎さん（杉並11団） に伝達されました。



富士章記念品の授与



東京連盟での富士章伝達式

## 団委員実修所 修了証伝達 9月16日

諭佐 道宏さん（杉並11団副団委員長）に団委員実修所全教程修了を証し  
団委員上級訓練修了章が伝達されました。諭佐さんは当地区で初の団委員上級訓練修了者となります。



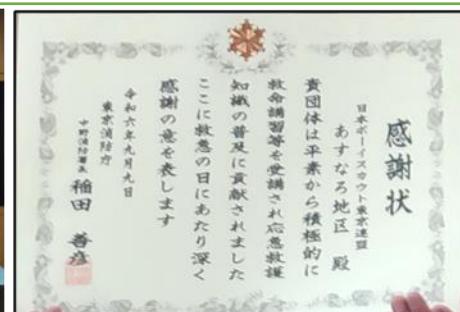
団委員  
上級訓練修了章

## 中野消防署より あすなろ地区へ感謝状 9月13日 中野消防署

中野消防署よりあすなろ地区へ「応急救護の知識普及への貢献」に対する感謝状を頂きました。



佐藤地区委員長が代表し  
感謝状を受領しました





### 地区ベンチャーフォーラム 7月20日-21日

地区各団から17名のベンチャースカウト(VS)がフォーラムに参集し「高校生年代×地域社会～私たちだからできること～」をテーマに、2日間の討議結果を行動計画にまとめました。

7月20日（土）夕刻に大宮八幡宮スカウトの森（杉並13団）に集合したVS達は、大宮八幡宮に参拝し、BBQの夕食の後、世界や身の回りで起こっている事について話し合いました。夜間に土砂降りに見舞われましたが的確に対応。さすが経験を積んだ高校生のスカウトは違います。



大宮八幡宮に参拝



開会式



夜の活動

7月21日（日）早朝から撤営し徒步と自転車で移動。カトリック高円寺教会（杉並5団）に会場を移し、ローバーの先輩達やVSフォーラム経験者の指導のもと、3個班に分かれて地域社会奉仕について本格的な討議を行いました。



アイディアを集める



中間発表



煮詰まっちゃったね～



頼りになるローバーの先輩



案を分類して活動を計画



班ごとに奉仕活動の計画を発表

各班からの地域社会貢献について「自転車事故の削減」「アクティブラーニングを用いて農業の魅力を広める」「ゴミについての環境問題（野営におけるゴミの分別と削減）」の計画が提出されました。





### ハワイ アロハ連盟Troop49と交流 都内散策 杉並12団ベンチャー隊

7月21日から約10日間程の日程で、ハワイのアロハ連盟より本願寺派のTroop49が来日され、7月23日、24日と杉並12団のベンチャー隊と共に都内散策してきました。



朝ホテルで初対面



暑い中、皆で移動

来日されたのは14~17歳のスカウト11名、大人12名の計23名。23日は朝から秋葉原のホテルに迎えに行き、麻布台ヒルズのチームラボ、東京タワー、竹下通りを散策。24日は築地本願寺を訪問した後、築地場外市場を経て浅草へ。その間、日米のスカウトで共に食事をしたり、次の目的地への移動経路を探してみたり、SNSのアカウントをフォローしあったり・・



チームラボにてスカウト同士、指導者同士



東京タワーで昼食とおやつ



竹下通で記念撮影



築地場外市場でお昼を



ちょっとした世界ジャンボリー気分で、二日間終わってみると初めは英語への苦手意識があった杉並12団のスカウトも「英語でコミュニケーションとれるって楽しい！」という成長っぷりでした。



築地本願寺



最後にお別れ



頂いたレイ

また今回、ハワイ側の指導者の方達とも指導者同士で色々と会話することができ、国は違えどもスカウト運動に対する考え方も似ていて、今後もよい関係を継続していくましょうと話していました。何年か後、今回参加したベンチャースカウト達がローバーとして今度はハワイに行けるとよいなと思います。



### 東京連盟VSハイアドベンチャーキャンプ 8月6日-12日 那須野営場

東京連盟ベンチャー部門「2024ベンチャースカウトハイアドベンチャーキャンプ」が8月6日から12日の日程で、栃木県の那須野営場を中心開催されました。当地区からベンチャー(VS)5名が参加、ローバー(RS)1名がスタッフとして奉仕しました。

東京連盟各地区から参加したVSは24名、バディーを組んで期間内に3日間の調査旅行(移動キャンプ)に出かけるなど、自主企画でのプログラムも織り込まれ、VSならではの多彩な活動を展開しました。



信号塔



超スイカ割



次の野営地を目指して

#### 杉並11団VS隊 升岡 凜さん

サイト開拓・大型建築物作成・移動キャンプ・奉仕活動などを通じて、新しい仲間とも出会い、最高の夏の思い出となりました。これからも技能を磨き、富士スカウトになれるよう努力していきます。

#### 杉並11団VS隊 今井 文香さん

盛り沢山で充実した6泊7日でした。移動キャンプの計画実施報告では自隊での経験が役に立ちました。他地区のスカウトとの交流は自身に良い刺激となり、とても新鮮で楽しかったです。



移動キャンプの朝



CP2：茶臼岳



那須岳神社



移動キャンプ報告会

#### 中野11団VS隊 林 瑞稀さん

6泊7日の長期キャンプで様々な活動を経験出来ました。スマホが充電できたので助かりました。

#### 中野11団VS隊 金田一 韶さん

初対面の他団のVSとも友達になり、意義あるキャンプになりました。

#### 中野11団VS隊 斎藤 信之介さん

久しぶりの長期キャンプは自団の仲間と友情が深まり、また他団にも仲間が出来、とてもいいキャンプになりました。



野営生活



外来植物の駆除活動



オオハンゴンソウ - Wikipedia



サイト開拓

#### 杉並11団RS隊 斎藤 敦さん (RS年代指導者として奉仕)

全体行事担当としてプログラム全般の取り仕切りや司会を受け持ちました。東京連盟のキャンプ奉仕は初めてでしたので、自団とは違う点などが良い経験となりました。また、ハイアドベンチャーキャンプは名前の通り、VSの自主性に委ねられたプログラムが特徴的だと感じました。



### 東京連盟BSサマーキャンプ 8月7日-12日 那須野営場

東京連盟ボーイ部門「Summer Camp 2024」が8月7日から6日間にわたり栃木県の那須野営場で開催されました。当地区からボーイ1名が参加、ローバー年代指導者1名がスタッフとして奉仕しました。



初日夕方の開会式

東京連盟各地区から参加したスカウトは約100名、混成班を編成して野営生活を共にしながら様々なプログラムに挑戦しました。



読図：歩測をマスター



結束法：野営工作



投てき機 飛んだ！



刃物：研ぎ方



通信：旗振り



サイト：水浸し

**中野11団BS隊副長 陰能 洋大さん (RS年代指導者として奉仕)**

役割は混成隊第一隊のリーダー、全体朝礼や隊別朝礼などで司会も務めました。指導者として初めての長期キャンプ。2日目夜の雨でテントサイトが水浸しになってしまったアクシデントなども含めて、思い出深いキャンプとなりました。 \*編集より：写真とコメントは陰能さんより提供いただきました。

**中野11団BS隊 黒木 洋さん**

知り合いが一人もいないので出発前はとても不安でしたが、行ってみたらすぐに仲良くなれて楽しくキャンプをすることができました。優秀スカウトにも選ばれて最高のサマーキャンプになりました。



最終夜の營火と閉会式 とても名残惜しかったです



### 韓日スカウトフォーラム 8月10日～14日 大韓民国

大韓民国 全羅北道 茂朱郡（ムジュグン）にて「第17回韓日スカウトフォーラム」が開催されました。日本連盟から17名の代表スカウトが派遣され韓国のスカウト22名と共に「SDGs11」について、フォーラム形式で話し合いました。あすなろ地区から東京連盟の代表として、出口陽真さん（杉並9団）と岩田知幸さん（杉並13団）のベンチャースカウト2名が参加しました。



日本の派遣スカウト

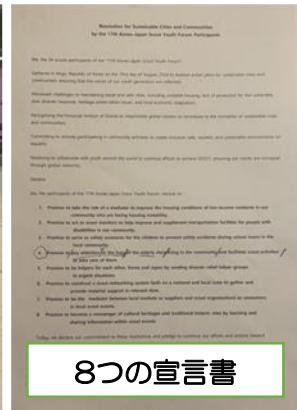
開催地の茂朱郡は韓国の中南部に位置する自然豊かな地で、フォーラムは茂朱郡にある中学校の体育館で行われました。日韓スカウトは混成4個班に分かれ、それぞれInclusive（包括的な）、Safe（安全な）、Resilient（耐障害的な）、Sustainable（持続的な）という視点のもと、「SGDs11」の主題である持続可能な街づくりについてスカウトとしてできることを考えました。話し合いを進めていく上で、ファシリテーターの助言を得ながら日韓に共通する街づくりの問題点を挙げ、チャートを活用しながら考えをまとめました。最終的に全体で8つの宣言を決定し、日韓両スカウトから発表されました。



フォーラム 日韓混成班での討議



イベントでの交流



8つの宣言書

#### 岩田知幸さん（杉並13団VS隊）

今回のフォーラムではテーマに関する議論の他、現地での様々な体験学習もありました。国立テコンドー園の見学をはじめとした韓国文化の体験、ウォーターアクティビティなどの自然体験、韓国のスカウトとの交流活動を通して、普段はできない貴重な体験を多くできました。言語や文化の違いなど初めは戸惑うことも多かったですが、最後は全員打ち解けられ非常に楽しい時間を過ごせました。

#### 出口陽真さん（杉並9団VS隊）

僕は韓国の音楽や文化に興味があり、韓日スカウトフォーラムに参加しました。フォーラムの討議では、日本と韓国の少子高齢化やインフラ不足といった共通課題を学びました。また、観光客とインフラ改善に対する異なる考え方を発見しました。日本では観光客増による税収増が多い一方、韓国ではインフラ整備で観光客を呼び込むアプローチがあります。最終的に、「Sustainable」な解決策として、地域の魅力をPRし観光客を増やし、人口増加に繋げる方法を考えました。

これから暮らしの中でも持続可能な社会を目指して、できることから生活を変えていこうと思いました。



## 日本ローバームート2024 9月3日-8日 那須野営場

「日本ローバームート」が那須野営場で19年ぶりに開催されました。ローバームートとはローバー年代を対象とした野営大会（ジャンボリー？）です。海外スカウト連盟からの参加を含め324名が、6日間に渡る様々な野外活動を通じて交流を深めました。あすなろ地区からはRS年代4名が参加しました。



NIPPON  
ROVER  
MOOT  
2024\*

村松泰地さん（中野8団）：

ラフティング・ウッドクラフト・キャンプファイバーなど様々なプログラムに参加しました。ラフティングでは滝に打たれ川に飛び込みながら鬼怒川を下り、他県連のスカウトと共に夏を満喫しました。また海外から参加したスカウトとの交流など、貴重な体験が出来ました。



野営場入口



鬼怒川ラフティング



同世代の仲間と

関戸大輔さん（杉並5団）：

大会を通してRS年代の若いエネルギーを改めて感じました。個人的には同期である98世代の仲間の活躍に刺激を受けました。彼らの活躍に負けないよう今後も精進していきます。



全国各地から



ムートポーズ



吉田汐里さん（杉並9団）・吉岡優奈さん（杉並11団）：

3月の「関東ローバーの集い」や、5月秋田での「RCJ総会」でご一緒した皆さんと再会を果たしました。全国から集まったRSと野外活動を共にして、スカウトとしての「絆」を実感しました。